

2021(令和3)年度  
**事業計画書**  
(2021年4月1日～2022年3月31日)

2021年3月19日



公益財団法人

**日本ユースリーダー協会**

DEVELOPMENT ASSOCIATION FOR YOUTHLEADERS

あすの日本とアジアそして世界のために  
力強く活躍する若きリーダーの育成に取り組んで50年  
若者たちの豊かな才能を伸ばします



### Vision for NEX50 (2019年制定)

各種の研修・交流プログラムを通し、自主自立、日本の美德を身につけ  
日本、アジア、世界の" Youth Leader" となりうる日本の若者を育成・支援します

### Key Word

—— つなぐ ——

## 2021年度 基本方針・基本計画

### <基本方針>

- 活動の理念である『飛び出せ若者』の合言葉を継承する。
  - 海外研修の送り出しと受け入れによって、若い世代の育成と国際交流の架け橋を担っていく。
  - 次世代のユースリーダーを年間を通じて育成するプログラムを重点化する。
- 我々協会とともに「学ぶ者」と「応援する者」との間を、協会が行う各事業の間を、協会と会員を、法人会員や個人会員同士の間を、東京と地方の間を、そして日本とASEAN各国の間を『つなぐ』ことで、明日の若きリーダーすなわち『ユースリーダー』を育成・支援する活動をビルドアップしていく。

### <基本計画>

1. 「リーダー育成・国際交流」「社会啓発」「つなぐ」の3つの事業を柱とする。
2. 次世代のユースリーダーを年間を通じて育成するLEP(Leaders Education Program)を推進する。
3. ASEANとの交流ネットワーク(AJAFSA-21)の活性化について具体案を練る。
4. 各事業間、会員間、東京と地方、日本とASEANのつながりを深めていくことを通じてユースリーダーの育成につなげていく。
5. 新型コロナウイルス感染症の拡大状況に対応して、オンラインを積極的に活用し、GETやさくらサイエンスプランなど現地訪問型の事業は下期に実施を検討する。

◆合言葉は-----

飛び出せ若者!!

◆キーワードは-----

つ・な・ぐ

## 2021年度 事業計画方針

### ★2021年の目標

1. 海外研修: 日本とアジアの学生研修、54名を目標とする。  
下期実施予定分「GET(Global Education Training): 20名」「さくらサイエンスプラン: 34名」
2. LEP(年間リーダー育成プログラム)への登録30名を目指す。
3. 若者力大賞表彰式をライブ配信し、会場での参加者以上のオンライン参加者を目指す。
4. 事業規模: 年間4,000万円の確保。  
事業収支: ゼロを目指す。

### ★事業計画: 事業はすべて公益事業とし、3つの分野で遂行する。

1. リーダー育成・国際交流事業
  - 1.1. LEP(年間リーダー育成プログラム)
  - 1.2. GET(学生向け東南アジア研修)
  - 1.3. AJAFA-21との交流促進
  - 1.4. さくらサイエンスプラン(アジアから来日研修者受入れ)
2. 社会啓発事業
  - 2.1. 若者力大賞
  - 2.2. 講演会(異業種交流研修会、受賞者講演会、アジアの会)
  - 2.3. 広報活動(広報誌、ホームページ、SNS)
3. つなぐ事業
  - 3.1. 財務管理・強化
    - ・会員の増強
    - ・その他の資金の検討
  - 3.2. 法人・個人会員との関係強化
    - ・会長サロン
    - ・ホームページの活用等
  - 3.3. リスク対応体制整備
    - ・防災体制の整備
    - ・海外研修に伴う安全・危機管理体制の整備
    - ・内部管理体制の提案

## 2021年度 事業計画施策

### 1. リーダー育成・国際交流事業

事業収支予算：▲1,770千円(2020年度見込：▲391千円)

#### 重点施策

#### 1. 1. 「LEP(Leaders Education Program:年間リーダー育成プログラム)」

事業収支予算：▲900千円(2020年度見込：▲526千円)

◆未来の「ユースリーダー」を育成するために、年間を通して様々な研修やイベントに参加し、またそれらの企画に関わることによって、若い世代が学び、気づき、成長をする機会を作るプログラム

◆協力校の先生方に働きかけて登録30名を目指す。

◆研修やイベントの例：

- ・若者力大賞
- ・受賞者講演会
- ・異業種交流研修会
- ・GET
- ・さくらサイエンスプラン
- ・AJAFA-21の行事(TVC、RLF、ECM)
- ・在日留学生や研修生との交流
- ・国内/海外のJICAオフィスとの懇談
- ・その他様々な人々との懇談("Meet the People")

◆費用の一部を協会が助成する。

◆インターン制度創設の検討

◆年度初めに「登録」してもらい、年度末に「修了証」を発行する。

#### 1. 2. 「GET(Global Education Training:学生向け東南アジア研修)」

事業収支予算：▲880千円(2020年度見込：▲18千円)

◆日本の高校生・大学生を対象にした8日間の海外体験型研修事業

◆AJAFA-21(日本とASEANを結ぶ友好団体)の協力を得ている。

◆研修実施時期：春(3月)コース(20名)、研修先：ベトナムの予定

◆研修先：ベトナム(予定)

◆募集計画：学校(先生)ルート/SNS活用/育てる会や商工会議所ルート/会員企業社員子弟へのアプローチ

◆参加費：協会が1人約4万円を助成する。

◆プログラムの改善：過去の参加者のフィードバックを参照する。

◆安全管理対策：現地スタッフ体制、危機発生時対応(OSSMA)等

### 1. 3「AJAFA-21との交流促進」

事業収支予算：▲500千円(2020年度見込：153千円)

- ◆AJAFA-21(ASEAN-Japan Friendship Association for the 21st Century)とは「21世紀のための友情計画」(1984から2013年まで実施)による青年研修で東南アジアから来日した研修生の同窓会ネットワーク
- ◆2020年度はオンラインを活用してTVC(テレビ会議)やECM(執行委員会議)等の活動を行ってきた。
- ◆活発な交流が行われていることを基盤として、交流を活用して具体的な活動(例えばSDGsの目標に沿ったような)の具体案を作る事を検討する。
- ◆交流活動の成果の若い世代への共有が求められており、ECMのオブザーバーとしての参加、またRLF(各国の若者交流プログラム)への若者の参加を促進する。
- ◆AJAFA-21加盟各国との個別の交流機会を増やしていく。

### 1. 4. 「さくらサイエンスプラン(科学技術振興機構主催の海外からの研修生の受け入れ事業)」

事業収支予算：600千円(2020年度見込：0千円)

- ◆アジア各国からの来日研修・国際交流
- ◆科学技術振興機構(JST)の助成金申請を前提に研修計画を組む。
- ◆助成金申請時期及び研修実施時期：
  - ①規採択分 ⇒ 10月実施(ベトナムの予定)
  - ②9月申請 ⇒ 2022年2月実施(タイ?)
- ◆研修プログラム
  - ①体験型研修の協力機関拡大：日鉄エンジニアリング、リバネス等
  - ②同世代交流を重点化(協力校やLEP参加者との交流)

## 2. 社会啓発事業

事業収支予算：▲3,260千円(2020年度見込：▲1,123千円)

### 重点施策

#### 2. 1. 「若者力大賞」

事業収支予算：▲2,350千円(2020年度見込：▲337千円)

- ◆「第12回若者力大賞表彰式」・・・2021年5月実施予定(2月から延期したもの)
  - ・オンラインでの表彰式ライブ配信を実施し、若者力大賞の社会的インパクトの拡大を目指す。
- ◆「第13回若者力大賞表彰式」・・・2022年2月実施予定
  - ①選考~審査プロセスの再検討(分野別募集等)
  - ②表彰式及びライブ配信の費用の削減を目指す。
  - ③受賞者支援スキームの検討を継続する。
  - ④イベント協賛等による収支改善の検討を継続する。

## 2. 2. 「講演会」

事業収支予算：▲110千円(2020年度見込：0千円)

◆従来、社会啓発事業とつなぐ事業に分かれていたものを、「講演会」として社会啓発事業の一分野としてまとめる。

◆新型コロナウイルス感染症の状況を勘案して、上期は特にオンラインでの開催を試行しリアル(オンラインとのハイブリッド)での開催は、下期に各区分1回の開催を目ざす。

区 分		異業種交流研修会	受賞者講演会	アジアの会
目 的		各界を代表する講師を迎えて企業の幹部、中堅、若手そして学生に啓発の場を提供する。	若者力大賞受賞者の活動を広く社会に伝える。若者を啓発する。	アジア圏の歴史、文化、現在を学ぶ。
講 師		法人トップなど	過去受賞者	専門家
対 象	法人会員	○	○	○
	学 生	○	○	○
事業収支予算		▲10千円	▲100千円	0千円

## 2. 3. 「広報活動」

事業収支予算：▲800千円(2020年度見込：▲786千円)

◆広報誌「YOUTH LEADER」の発行

・年2回(5月、11月)発行。上半期及び下半期の活動内容を報告。

◆ホームページ/SNSの活用

・協会の情報公開。広報誌と連動して活動内容を随時発信。若者力大賞候補者の募集や表彰式の申し込みなどに活用。

◆協会案内リーフレットの改訂

・異動の内容を反映。

## 3. つなぐ事業

事業収支予算：1,050千円(2020年度見込：1,162千円)

### 3. 1. 財務管理・強化

・法人・個人会員の増強

・一般寄付金

・助成金、クラウドファンディング等その他資金の検討

### 3. 2. 法人・個人会員との関係強化

- ・会長サロン
- ・法人会員のホームページとの連携の検討
- ・法人会員とASEANの友好団体とをつなぐ機会を探る。

### 3. 3. リスク対応体制整備

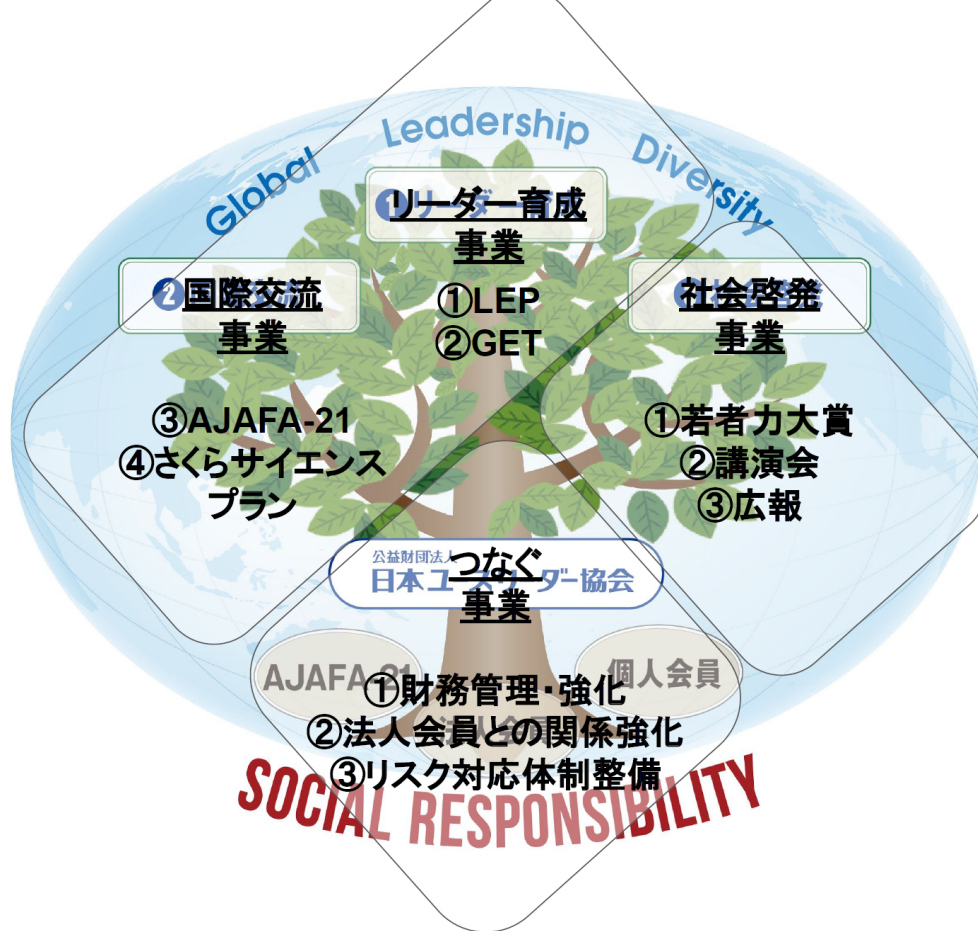
- ・防災体制の整備(防火管理者の設置)
- ・海外研修における安全・危機管理体制の整備
- ・内部管理体制の理事会への提案

## 2021年度 事業委員会

委員会名 委員長	活動分野	担当理事	事務局
<u>リーダー育成・ 国際交流委員会</u> 金沢常務理事	①LEP ②GET ③AJAFA-21との交流 ④さくらサイエンスプラン	村岡理事 阪本理事	長 安部
<u>社会啓発委員会</u> 池本理事 熊澤理事大賞実行委員長	①若者力大賞 ②講演会 ③広報活動	倉田理事 家本理事 藤村理事 秀島理事	長 林 安部
<u>つなぐ委員会</u> 佐藤常務理事	①財務管理・強化 ②法人・個人会員との関係強化③ リスク対応体制整備	小笠原理事	金沢 長 林



# 事業のイメージ



## 日本ユースリーダー協会は 皆さんを「つなぐ」ステージ(舞台)

